

新発田市過疎地域持続的発展計画案に関するパブリックコメントに寄せられた意見に対する市の考え方

新発田市過疎地域持続的発展計画案に関するパブリックコメントに寄せられたご意見及び当市の考え方については以下のとおりです。なお、いただいたご意見を掲載するにあたり、内容の一部要約、順番の入れ替え等を行っている場合があります。あらかじめご了承ください。

No.	頁	項目	ご意見(要約)	市の考え方	計画の修正
1	-	-	新潟には初心者向けのスケートボード練習施設がないため、県外で練習している。若い人がたくさん来てくれるような施設があれば地域活性化になると思う。	若い人たちが地域を訪れることで関係人口や交流人口を増やすことは大切な取り組みです。いただいたご意見については、過疎地域の持続的発展に向けた取組の参考とさせていただきます。	無
2	-	-	車の運転が出来なくなると通院や買い物に支障が出るので、コミュニティバスの路線を検討していただきたい。	公共交通空白域を減少させることが地域間交流の増進につながるものと考えられることから、いただいたご意見については、過疎地域の持続的発展に向けた取組の参考とさせていただきます。	無
3	-	-	市の計画案を旧加治川村地域の市民に公開し、地域住民を含め、全体のベクトルを合わせてほしい。地域住民も勉強する必要があるので、先進事例の講演会等を開催してほしい。	旧加治川村地域の各自治会長様を対象に説明会を開催するとともに、計画の概要を旧加治川村地域へ全戸配布いたします。併せて、計画案の内容について、この度のパブリックコメントの実施により、広く意見を公募したところです。本計画策定後も地域の声を把握しながら事業の検討を進めていきますので、いただいたご意見については、過疎地域の持続的発展に向けた取組の参考とさせていただきます。	無
4	-	-	①商業について 駅前のカフェ、居酒屋、ラーメン店が入居する商業ビルはどうか。定期的な食のイベントがあれば良いのではないか。 ②福祉について 認知症高齢者が無料で毎日交流できる場所や認知症予防や悪化を防ぐための働ける場所がほしい。また、認知症について学べる会を開催してほしい。	人口減少を抑えていくためには、様々な分野の対策が必要となりますが、財源には限りがあるため、優先度を決めながら計画的に取り組んでいかなければなりません。いただいたご意見については、過疎地域の持続的発展に向けた取組の参考とさせていただきます。	無
5	-	-	①学校農園の整備拡充による若者のふるさと帰属意識の育成 小中学生は多種類の野菜等を栽培するなど充実した食育教育により、安心安全な食べ物を生産する労働の重要性、食物と健康の関連性、環境問題に対する理解を浸透させる。当該地域の小中学校に学校農園を整備拡充し、本格的体験型学習を導入する。 ②市民農園の開設 米倉地区の市民農園は1区画が狭小である。旧中川小学校跡地は、農園圃場、関連施設、直売所、駐車場用地として十分な広さがあり、市街地からのアクセスも良い。 ③移住者増加策の推進 加治川地域と類似する特性を持つ島根県旧桜江町は先行事例として研究する必要がある。少子化、人口減少の防止を図るため、若者・女性・子育て世代の移住促進施策が重要であり、まずは地域おこし協力隊やNPO法人等の参加によって成功事例を作ることが有効である。	①について 当市もそのとおりであると考えており、既にオリジナルの食育プランである「食とみどりのしばたっ子プラン」を市内全小中学校で実施しています。「育てる(栽培)」「作る(調理)」「食べる(食事)」「返す」の食のサイクルに基づいた食育を実施することで、ご指摘の内容を学ぶとともに、新発田の食文化に触れることでふるさとへの愛着心の醸成に取り組んでいるところです。この取組を強化していくとともに、学校農園の整備拡充については、今後の業務の参考にさせていただきます。 ②について 旧加治川村地域は、当市の基幹産業である農業を担う大切な地域でありますので、いただいたご意見については、過疎地域の持続的発展に向けた取組の参考とさせていただきます。 ③について 当市の移住定住施策は、住宅取得補助金等支援事業、ライフデザインセミナー等啓発事業などを実施しており、新発田市全体では県内他市と比較すると人口減少率は低く抑えられている状況です。しかし、過疎地域の指定要件である「人口減少率」の増加を食い止めるためにも、ご指摘のとおり先行事例の研究に努め、当市における成功事例を作ることが重要と考えます。いただいたご意見については、過疎地域の持続的発展に向けた取組の参考とさせていただきます。	無

			<p>④企業版ふるさと納税の活用</p> <p>地縁・血縁のネットワークを活用し、企業経営者の興味関心を強く惹くような故郷の地域活性化策を提案することが必要である。</p>	<p>④について</p> <p>現在、当市では2つのプロジェクトについて企業版ふるさと納税制度を活用し、ご賛同いただいた企業の皆様からご寄付を頂戴しています。2つのプロジェクトはいずれも中心市街地に関するものであり、現状では加治川地区に特化したプロジェクトは実施しておりませんが、ご指摘のとおり民間企業の皆様からご賛同をいただき、お力添えをいただく必要がある事業を実施する際には、当制度の活用などを検討してまいります。</p>	
6	-	-	<p>計画には具体的な内容があまり見られないので、出来れば良いことなどを記載する。</p> <p>～加治川有機の里（さくら咲きホテル舞う里）プラン～</p> <p>①有機（オーガニック）・無農薬農業試験地域構想</p> <p>貝屋・小国谷は独立した農地があり、有機・無農薬栽培の取組において発生する周辺耕作地への病害虫発生等について問題は少ないと考えられる。</p> <p>②ホテル舞う里プラン</p> <p>大天城公園（ゲンジボタル保護）環境整備事業 太陽のステージの屋根、照明・音響設備の整備 降雨時、雷雨時における緊急避難場所等の設置 公衆トイレ水洗洋式化</p> <p>③日本一加治川桜ライン下り</p> <p>花見船着き場、川舟整備（第2頭首工～治水公園） 駐車場、売店整備、レンタサイクル導入 羽越線臨時停車場設置運動の実施</p> <p>④桜公園・椽平桜樹林整備事業</p> <p>桜公園、桜樹林の整備事業、保存活動 サイクルロードの整備 ジビエ農家レストランなど 高低差を利用した小水力発電</p>	<p>人口減少を抑えていくためには、様々な分野の対策が必要となりますが、財源には限りがあるため、優先度を決めながら計画的に取り組んでいかなければなりません。いただいたご意見については、過疎地域の持続的発展に向けた取組の参考とさせていただきます。</p>	無
7	-	-	<p>① 過疎地域に指定された最大の原因は、合併時に「加治川村」の名称がなくなったことであろう。「加治川村」がなくなった時に、議員はどう努力したのだろうか。「加治川村」の復活はできないのか。</p> <p>② 自治会長を1年交替としたことが最悪である。1年だけであれば長期計画を立てる意思もなくなる。この役職が地域での最大の名誉になるよう事を運ぶべきである。</p> <p>③ 加治川地域をきれいにする。桜をさらに植えて名所とする。加治川地域を含め新発田市は街路樹が少なすぎる。</p>	<p>①について</p> <p>地名はまさにその土地のアイデンティティであるため、市町村合併後も、旧市町村の均衡ある発展を目指し、様々な取組を進めてまいりました。加治川村という名称はなくなりましたが、加治川地域はこれからも地域の魅力を引き出しながら持続的に発展できるよう、国からの支援なども活用しながら取り組んでまいります。</p> <p>②～⑥について</p> <p>本計画策定後も地域の声を把握しながら事業の検討を進めてまいります。いただいたご意見については、過疎地域の持続的発展に向けた取組の参考とさせていただきます。</p>	無

			<p>廃屋は何とかならないか。町の美観を損なっている。</p> <p>冬の除雪を徹底すべき。</p> <p>④ 面白い催し物を企画し、開催する。その際、地域の人には割引など優遇する。</p> <p>⑤ 地域の方々が出来る限り知り合いになる。あいさつの習慣は町内の会合の折、強調することが必要。</p> <p>⑥ 集会場所もしくは公民館を常にきれいにしておく。できれば立派な建物にする。</p>		
8	-	-	<p>子どもたちに焦点を当てた計画が必要だと思う。過疎化が進むのは、地域性や個人的都合はもちろんだが、住んでいる子どもたちが「ここは良い所だ」と思わない限り流出は必然である。この気持ちがあれば、住み続けてくれる子や一度離れてもまた戻りたいという子がいるのではないか。</p> <p>新規就農者の確保について記載されているが、就農を希望する人への支援はあるが、手を挙げる子どもをどう育てていくのか。農業体験というイベントは農業とは無縁であり、教育的効果があるはずと思込んでいるだけである。教育と農業を結び付けて子どもたちに「命の大切さ」まで染み込ませる喜多方市小学校農業科は参考になると思われる。</p> <p>学校給食は農業や健康にもつながる子どもたちの学びのチャンスである。食材の説明や現場での体験、話し合い、栄養教諭による指導など、子どもたちへのアプローチは多岐にわたる。食や農業への関心を持つことから地域を知ることができる。</p>	<p>当市においては、地域への愛着を醸成する「しばたの心継承プロジェクト」の取組や、栽培から調理、食事を経て発生した食品残渣を土に返し、新たな農作物の栽培につなげる一連の過程に基づいた「新発田市食の循環によるまちづくり」と、それを踏まえた独自の食育プラン「食とみどりの新発田っ子プラン」を進めており、食の大切さ、礼儀作法、命をいただくことの意味、地域の食文化など、多岐にわたる取組を実施しています。</p> <p>ご意見のとおり、子どもたちに焦点を当てた取組の実施は、教育的観点のみならず、将来にわたって新発田市を次世代につないでいくためにも必要不可欠なものであると考えています。</p> <p>食の循環によるまちづくりの取組については、平成21年度から実施し、食育の取組についても新発田市独自の食育として定着しておりますが、ご指摘の喜多方市の事例等を参考に、必要に応じて見直しを行いながら、取り組んでまいりたいと考えております。</p> <p>いただいたご意見については、過疎地域の持続的発展に向けた取組の参考とさせていただきます。</p>	無
9	-	-	<p>一般論や現在実行中の取組、出来る範囲でのやるべき事の羅列が多く、この危機を乗り越える目新しいものが見られず残念である。稲作中心の産業構造を念頭に気候、自然を活用した発展を目指すべき。</p> <p>投資なくして成長なし。民間資金活用も含め検討してほしい。</p> <p>①農業の高度化による収益性拡大</p> <p>②日本一小さな山脈楕形山脈の観光資源化</p>	<p>計画内容については、現在当市で実施している事業を記載しております。現在実施していない事業も幅広く読み込むことが可能な計画としておりますので、民間企業の皆様との連携等も含め、いただいたご意見については、過疎地域の持続的発展に向けた取組の参考とさせていただきます。</p> <p>また、加治川地域は当市における農業の拠点となる地域であり、桜や楕形山脈を含め、気候や自然を活用した取組が必要であると考えております。特に農業に関しては、加治川地区を含め市内3か所で稼働している有機資源センターで生産される良質な堆肥を活用した「オーガニックSHIBATAプロジェクト」などを着実に進め、加治川地域の持続的発展に資する取組を行ってまいりたいと考えております。</p>	無
10	-	-	<p>① 回覧内容は文言に親切さがなく、分かりやすくなかった。計画案がどこに置いてある、インターネットで検索できるなど明記すべきではないか。計画案と意見書用紙が意見箱脇に置いてあると明記するなど、配慮があった方がよい。</p> <p>② この計画に重点的事項、改善すべき事項などの注目的な内容の掲載があっても良いと思う。</p> <p>③ 有識者による意見聴取、地域説明会などを受けての策定でも良かったのではないか。</p> <p>④ 過疎地域指定による優遇・支援について、市民・事業者等に周知することが必要ではないか。</p>	<p>①について</p> <p>この度のパブリックコメントについて、地域への回覧文書でお知らせいたしましたが、分かりにくい文書となってしまいましたこと、お詫びを申し上げます。いただいたご意見は庁内で共有し、同様のことが起きないよう配慮に努めます。</p> <p>②～④について</p> <p>計画に掲載する内容については、国から示された作成要領等に基づき作成しており、他市町村の計画においても独自性が見られないものとなっております。本計画策定後も、加治川支所と各事業を所管している担当課が連携し、日常的に地域の声を把握しながら、過疎地域の持続的発展に向けた取組を検討してまいります。それらの中で、過疎地域に対する支援内容や重点的に取り組む事項などを皆様へ周知してまいります。</p>	無

	1	(1) (ア) ① ②	「自然的条件」: 加治川村当時、櫛形山脈は日本一小さい山脈として活用していた 「歴史的条件」: 加治川地域では江戸時代以前の歴史があるので掲載してはどうか。	自然的条件での記載内容について、「櫛形山脈」を「日本一小さい山脈として知られる櫛形山脈」に修正します。 歴史的条件の記載内容については、市全域的な内容を記載することとしているため、計画案のとおりとさせていただきます。	有
	2	(1) (ア) ③	「社会的条件」: 金塚駅については、以前からある西口に加え、村長・村議の尽力によって東口ができた。「西口と東口のある金塚駅」と記載してはどうか。	社会的条件の記載内容については、文章内容等も考慮し、計画案のとおりとさせていただきます。	無
	8	(4)	大峰山の山桜について、国指定天然記念物と掲載してはどうか。	ご指摘の内容については、文章内容等も考慮し、計画案のとおりとさせていただきます。	無
	14	(3)	加治川コミュニティセンターには体育施設として体育館もあるが。	コミュニティセンターについては、地域住民の活動の場としての機能を考慮し、第2章に記載しています。	無
	16	(2) ②	加治川地域には作業道もある。国内木材が見直されていることから、林業の機械化・効率化に伴う作業道の新設が必要。	いただいたご意見については、過疎地域の持続的発展に向けた取組の参考とさせていただきます。	無
	-	-	金塚駅東口には加治川村当時から調整池がなく、毎年豪雨による被害が発生している。関係河川や水路の改良整備が早急に求められている。	いただいたご意見については、過疎地域の持続的発展に向けた取組の参考とさせていただきます。	無
	44	(3)	加治川地区公民館金塚分館は取り壊され、跡地になっているが。	ご指摘のとおり、加治川地区公民館金塚分館は解体されておりますことから、削除いたします。	有
	-	-	水田面積約1,500ヘクタールの継続的維持に向けた新規事業の立ち上げが必要だと思う。	いただいたご意見については、過疎地域の持続的発展に向けた取組の参考とさせていただきます。	無
	-	-	里山整備事業は、人間社会の場、鳥獣の場を確立させるため、住民などの協力体制を早期に構築し、安心安全な生活が継続できるよう行動すべき。	いただいたご意見については、過疎地域の持続的発展に向けた取組の参考とさせていただきます。	無
11	-	-	近年、各種動物が増加し、山間地の状況は悪化している。市職員、JA、森林組合等農林関係者は狩猟免許取得を推進し、管理監督のみならず現場での作業をできるようにすること。 市街地での活動も活発化していることから、捕獲制限も大幅に緩和するよう働きかけること。	生態系の変化や森林の管理状況の変化などにより、様々な鳥獣害が発生していることから、いただいたご意見については、過疎地域の持続的発展に向けた取組の参考とさせていただきます。	無
12	-	-	新発田市は魅力がない。若い人を呼び込むためにSNSを活用してはどうか。新発田は財源が少なすぎるから過疎化するので、建物ではなく市民に使うことが先決。 インフルエンサーやアイドルを作ってはどうか。今の時代はアイドルがすごく熱い。アイドルやファンが財源を増やしていると言っても良い。知名度が上がり、物が売れ、人口が増加すると確信している。市役所の広場などを練習場所やイベント会場として有効活用してはどうか。	人口減少を抑えていくためには、様々な分野の対策が必要となりますが、財源には限りがあるため、優先度を決めながら計画的に取り組んでいかなければなりません。いただいたご意見については、過疎地域の持続的発展に向けた取組の参考とさせていただきます。	無